

第12回再処理・リサイクル部会 総会

1. 2006年度活動計画

- | | |
|-------------------|----------------------------|
| (1) 4月 | 本年度運営委員、顧問、参与 |
| (2) 4月21日 | 運営委員会(東大)・・・セミナー準備 |
| (3) 5月18日 | 第4回再処理リサイクルセミナー(東大) |
| (4) 6月14日 | 運営委員会(電中研)・・・本年度計画 |
| (5) 7月31日 | 運営委員会(電中研)・・・国際ワークショップ計画立案 |
| (6) 9月22日 | 運営委員会(電中研)・・・国際ワークショップ進捗確認 |
| (7) 9月28日 | 部会総会、企画セッション、運営委員会(北大) |
| (8) 10月 | 部会表彰募集 |
| (9) 11月 | 運営委員会・・・国際ワークショップ準備 |
| (10) 12月8～9日 | 第3回国際ワークショップ(九大) |
| (11) 3月 | 運営委員改選 |
| (12) 3月27日 | 部会総会・表彰、企画セッション、運営委員会(名大) |
| (13) 時期未定 | 第3回ぎんぎん技術セミナー(箱根) |
| (14) 2007年9月9-13日 | GLOBAL2007(Boise, Idaho) |

2. 2006年度予算計画

3. 企画セッション

2006年度部会運営委員

部会長代行:	田中 知 (東大)	部会表彰、部会セミナー、国際WS
副部会長代行:	井上 正 (電中研)	学会セッション、部会セミナー、国際WS
運営委員:	浅沼 徳子 (東海大)	会計、国際WS
	天野 治 (電中研)	幹事、国際WS
	有田 裕二 (名大)	学会セッション、部会セミナー
	稲垣 八穂広 (九大)	国際WS
	倉重 有幸 (原燃工)	部会セミナー
	佐藤 修彰 (東北大)	国際WS
	白井 理 (京大)	学会セッション、ぎんぎんセミナー
	鈴木 一雄 (東電)	六カ所情報、部会セミナー
	中村 裕行 (日本原燃)	六ヶ所情報、国際WS
	西村 友宏 (電中研)	学会セッション、部会セミナー
	半沢 正利 (三菱マテリアル)	部会セミナー
	深澤 哲生 (日立)	庶務幹事、部会セミナー
	藤田 雄二 (原子力機構)	部会セミナー、部会HP
	森 行秀 (三菱重工)	国際WS、会計
	森田 泰治 (原子力機構)	部会セミナー
	山田 和矢 (東芝)	学会セッション、国際WS

顧問: 竹内哲夫(元原子力委員会/東電)

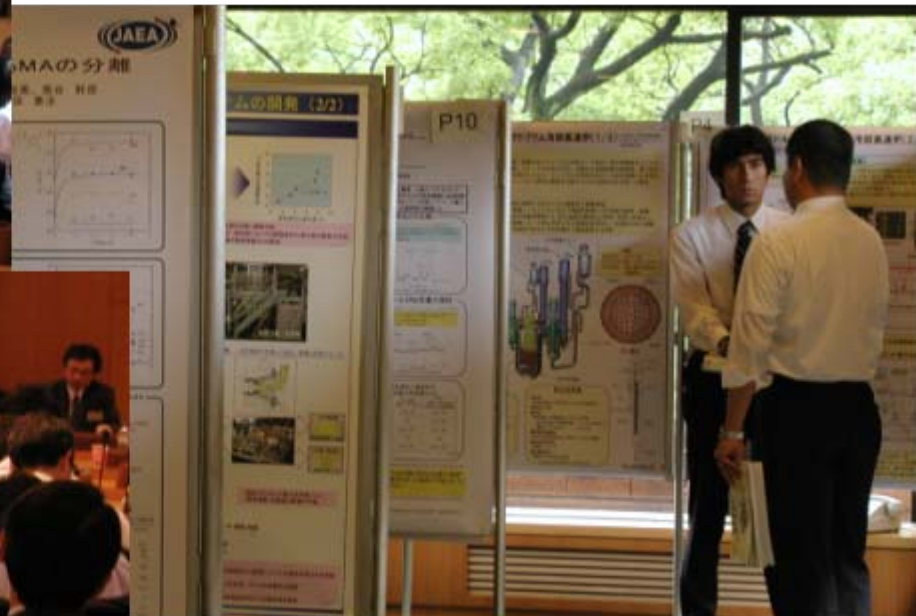
参与: 野村茂雄、土尻滋、小山智造、峯尾英章、駒義和(以上原子力機構)、鈴木一弘(東電)、
藤田玲子(東芝)、池田泰久(東工大)、松本史朗(埼玉大)、田辺哲朗(九大)、山名元(京大)、
山村力(東北大)、波多野守(エネ総研)、大月淳(日立)

再処理・リサイクル部会第4回セミナーの報告

1. 日時、場所:平成18年5月18日(木)、東大・山上会館
2. テーマ:「これからの燃料サイクルシナリオと対応システム」
3. 概要

(1)原子力部会、FBRサイクルFSフェーズⅡ、国際原子力エネルギーパートナーシップ(GNEP)など、国内外の動きが活発化している状況で、今後の燃料サイクルのあり方を議論し確認した。

(2)111名の関係者が出席し、熱心な議論が展開された。FS、湿式/再処理、核種分離等に関するポスター発表も32件と盛況であり、成功裏に終了した。(部会ホームページに掲載)



第2回(平成18年度)日本原子力学会再処理・リサイクル部会賞 受賞候補者推薦の募集

＜募集期限(予定):平成19年2月28日(水)、贈呈日(予定):平成19年3月27日(火)＞

1. 受賞資格: 原則として本部会部会員
2. 募集方法: 正会員または賛助会員代表者の推薦による。(自薦・他薦を問わない)
3. 受賞対象: 原子力における再処理・リサイクル分野の発展や進歩に、顕著な貢献をした個人またはグループとする。
4. 部会賞の種類等
 - (1) **功績賞**: 再処理・リサイクル分野において幅広くかつ顕著な貢献のあった個人を対象とし、毎年1名以内とする。
 - (2) **業績賞**: 再処理・リサイクル分野において顕著な学術または技術上の業績のあった個人またはグループを対象とし、毎年2名以内もしくは1グループ以内とする。
 - (3) **優秀講演賞**: 再処理・リサイクル分野に関する日本原子力学会または再処理・リサイクル部会が主催もしくは共催する行事での優れた口頭発表、ポスターセッションでの発表を対象とし、春および秋の年会においては各年会あたり3名程度を目安とする。
5. 賞: 本賞は表彰状を授与し副賞を贈呈する。
6. 応募方法: 所定の推薦書に必要事項を記し、表彰委員長へ送付して下さい。
7. 募集期限(予定): 平成19年2月28日(水)必着
8. 選考結果の通知: 選考結果は、平成19年3月20日頃に通知する。
9. 贈呈(予定): 平成19年3月27日 春の年会 再処理・リサイクル部会総会時
10. 選考: 再処理・リサイクル部会内に表彰委員会を設置して選考を行う。なお、受賞候補者および推薦者は表彰委員会委員にはならない。
11. 応募先: 後報

第3回再処理リサイクル部会国際ワークショップ（案）

1. 開催日、場所：2006年12月8日(金)～9日(土)、九州大学・西新プラザ
2. テーマ：「急展開する原子力発電に伴う、使用済燃料の種々対応方法と研究開発」

3. 開催趣旨：今後の世界、特にアジアの原子力発電は急速に進む可能性がある。この際、使用済燃料対応策（貯蔵、処分、減容、MAリサイクル等）を長期的視点から考え、社会の信頼を獲得し、関連技術と人材を確保する必要がある。各国共通の問題である。本ワークショップで、過去の経験、現在の状況、今後の計画を紹介しあい、相互理解を深める。また、次世代の使用済燃料対応のあり方、安全性・核不拡散性の確保、着実な発展のための技術継承と人材育成、社会の信頼獲得など、これから直面する課題と学会、大学、諸機関の役割について議論する。

4. 主要プログラム案

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| <u>12月8日(金)</u> | 現状の使用済燃料管理対応方策 |
| 9:00-11:10 | アジアの使用済燃料対応方策の紹介 |
| 11:10-14:00 | 使用済燃料対応方策を支える技術、人材、経験など |
| 14:00-15:00 | 過去の教訓に学ぶ |
| 15:15-16:45 | パネル討論：使用済燃料対応の問題点、各機関の役割 |
| 16:45-18:15 | ポスターセッション |
| 18:30 | 懇親会 |
| <u>12月9日(土)</u> | 使用済燃料対応の次世代技術 |
| 9:00-11:30 | キーとなる技術と周辺技術と次の世代への技術継承 |
| 13:00-14:30 | パネル討論：技術継承、国際協調 |
| 14:30-15:00 | まとめ、ポスター賞発表 |

5. 参加費等

参加費：会員15,000円、非会員20,000円、シニア会員10,000円、学生無料
申込締切：10月31日(火)（ポスター発表も同じ）

2006年秋の大会（北大）

再処理・リサイクル部会企画セッション

1. テーマ 再処理・リサイクルの現状と将来の動向
2. 概要 FBRサイクル実用化戦略調査研究フェーズⅡのとりまとめ結果に基づく我が国のFBRへの移行シナリオと、（GNEP構想など）海外諸国における取り組みとの整合性について議論する。
六ヶ所再処理工場（ウラン試験の概要報告と、アクティブ試験の概要）や、中間貯蔵についても紹介して、討論する。
3. 開催日 平成18年9月29日（金）、13：00～15：00
4. プログラム
 - 〔1〕 FBRサイクル実用化戦略調査研究(FS) フェーズⅡの成果
 - 〔2〕 GNEP等海外諸国の動向について
 - 〔3〕 六ヶ所再処理工場の状況
 - 〔4〕 リサイクル燃料備蓄センターの概要

再処理・リサイクル部会 平成18年度予算

項 目		予算(円)	H17年度(円)	比較増減(円)	説 明
収入の部	部会収入	1,892,161	2,733,299	▲841,138	
	平成17年度繰越金	539,161	1,190,299	▲651,138	
	経常予算	238,000	318,000	▲80,000	
	平成18年度部会配付金	203,000	172,000	31,000	
	セミナーテキスト収入	0	0	0	
	その他収入	35,000	146,000	▲111,000	セミナー残金
	セミナー	1,115,000	1,225,000	▲110,000	
	参加費	1,115,000	1,225,000	▲110,000	
	部会補助金収入	0	0	0	
	その他収入	0	0	0	
支出の部	部会支出	1,281,000	1,654,000	▲373,000	
	経常予算	201,000	429,000	▲228,000	
	会議費	30,000	27,000	3,000	
	通信費	10,000	27,000	▲17,000	
	印刷費	0	90,000	▲90,000	
	講師謝金・旅費	100,000	225,000	▲125,000	
	会員管理費	61,000	60,000	1,000	
	会報印刷費	0	0	0	
	予備費	0	0	0	
	セミナー	1,080,000	1,225,000	▲145,000	
	会場費	200,000	200,000	0	
	運営費	50,000	25,000	25,000	アルバイト代
	講師謝金・旅費	250,000	270,000	▲20,000	
	印刷費	510,000	540,000	▲30,000	
	雑費	70,000	190,000	▲120,000	
収支		611,161	1,079,299	▲468,138	

第4回 再処理・リサイクル部会セミナー(5月18日山上会館) 収支報告

【収入】

項 目	収入済額(円)	説 明
参加費	880,000	正会員(10,000円x88名)
	105,000	非会員(15,000円x7名)
	5,000	シニア(5,000円x1名)
合計	990,000	

【支出】

項 目	支出済額(円)	説 明
会場費	48,400	山上会館大会議室使用料
印刷費	283,500	テキスト印刷製本費(125部)
	12,285	配付資料コピー代
運営費	7,056	講演者用記章代
	2,088	講演者用ペットボトル(18本)代
	18,000	コーヒー・紅茶代(コーヒーブレイク用120杯)
	271,500	懇親会飲食代
講師謝金	65,000	
講師旅費等	13,000	
合計	720,829	

収支残高	269,171
------	---------